

(計画名)	西駿河湾区域建設計画
(策定主体)	静岡県
(地域の課題)	<p>(1)本県の中核をなす地域にふさわしい、情報化や国際化に対応したより高次な都市機能の整備及び空港を生かした地域づくり</p> <p>(2)駿河湾深層水や茶・みかん等の機能性食品など、地域資源を活かした新産業の創出、既存産業の高度化</p> <p>(3)南アルプス等の貴重な自然の保全と地域資源の活用による地域の活性化</p> <p>(4)広域的な交流・連携を図るための交通基盤の整備と高度情報社会の進展に対応した情報通信基盤の整備</p>
(計画の概要)	<p>(1)<u>県都にふさわしい高次都市機能の強化及び新たな玄関口となる空港周辺地域の都市基盤の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東静岡駅周辺において情報・文化交流の拠点として<u>高次な都市機能の集積・強化</u>を図り、内外に向けた情報発信や多彩な交流活動を進めていく。 ・ 平成 21 年 3 月の開港を予定している<u>空港の周辺地域の都市基盤の整備</u>を進める。 <p>(2)<u>食品・医薬品・化成品産業集積(フーズ・サイエンスヒルズ)プロジェクト及びしずおかコンテンツバレー構想の推進等による新たな時代を拓く活力ある産業の育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産学官連携のもと、駿河湾深層水や茶・みかん等を活用した機能性食品の研究開発等の促進により<u>新事業・新産業を創出</u>する。 ・ 音楽、映像、アニメなど、各種の情報を創造するコンテンツ産業の創出をめざす。 <p>(3)<u>南アルプスから安倍川、大井川、駿河湾へと続く優れた自然を保全・活用するための流域連携の促進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大井川・安倍川の流域の人々が連携して、駿河湾沿岸まで広がる貴重な自然環境を保全する。 ・ 地域資源の活用や新たな魅力を創出することにより、来訪者の誘致と多面的な交流を進め、地域の活性化を図る。 <p>(4)<u>広域的な交流を促す総合的交通・情報ネットワークの構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>静岡空港</u>や、<u>第二東名高速道路</u>、<u>中部横断自動車道</u>、<u>清水港</u>、<u>御前崎港</u>等の整備を進める。 ・ 周辺アクセス道路と連携し、陸・海・空の総合的な交通基盤を整備するとともに、情報通信基盤の整備を進める。